



大泉町 文化発祥の地 (文化むら)

岩瀬 和夫 撮影



群馬県立館林高等学校同窓会

# 館泉会 会報

第16号

## 世界平和と戦後七〇年の日本

館泉会会長 稲 村 一 男  
(昭和四三年卒)



初めに会報発行にあたり、会員皆様のご理解・協力と、本部同窓会と各支部の会長、支部長の皆様にご支援を賜り誠にありがとうございました。今日日本は戦後七〇年が過ぎようとしています。戦時中は故郷に両親や妻子を残して戦場に赴いた人も数多くいたでしょう。そして旧制館林中学の頃学徒出陣を余儀なくされた先輩達も多かった事と思います。終戦後日米安全保障条約が結ばれ、この大泉にも進駐軍が入り込んで来ましたが、この地域の人々にはアメリカ人の国民性や生活習慣には戸惑いを隠しきれなかったと思います。しかし今では日本とアメリカは最大のパートナーになって、平和日本七〇年を築き上げました。

さて最近の世界情勢を見ると、中東を中心にアラブの春などと言われ、それぞれの国々に自由国家が誕生したかにみえましたが、過激派組織「IS」などイスラム過激派が数力国に現れ、勢力を拡大させ、世界中を震撼させています。

日本でも湯川さんや後藤さんが殺害され、大変なニュースになりました。勢力を拡大させる為に宗教を利用し人々に忠誠と服従をさせ、奪い取った文化財を売り捌き、何千年もの歴史のある遺産を破壊して、殺戮をくり返しています。そして戦闘員には自爆テロに成功すれば天国で美しい女性と暮せるなどと洗脳、指導をし、終りのないテロ組織になっています。

戦争は三つの要素から始まると言われますが思想、人種、資源、それらの国々にはみんな絡んでいます。そして思想(宗教)であるイスラムの教典の解釈の方向がこれほどまでになってしまったのかと思うと、本当に恐ろしい事です。日本でも二十年前に地下鉄サリン事件がおき、オウム真理教も、その類を見ないと思います。そして今でもその幹部が作ったアサヒとか言う教団に二五〇〇人の信者が居ると言われています。どんな宗教の教典にも、人間をひやみやたら殺してもよいとは言っていないでしょう。

平和の大切さを念頭において、社会に貢献できる宗教であってほしいものです。さて日本、中国、韓国、三力国では、日韓国交正常

化から五〇年、従軍慰安婦、竹島問題等、ぎくしゃくしています。日中では尖閣諸島問題、そして近々発表される安倍談話が注視されている状況で、日本では、安全保障法整備で、自衛隊の活動範囲が拡大することで、日本の安全はさらに確かにしようというものだが、海外での武器使用の可能性も出てくること懸念されています。今後日本は外交面で近隣諸国と、特に中国韓国を重要視して連携を保っていかないとはいえないものです。そして更に平和が続くようお願い念じて行きたいと思えます。

### 猿取佳太の一日(八〇歳)

- ▼朝六時起床 厳寒の頃は五時に起きていたが、陽気が良くなるにつれ、遅くなった。
- ▼六時半貸駐車場の見廻り。ラジオ体操後、庭を掃く。
- ▼七時半朝食
- ▼八時半クラウンドゴルフ場へ向かう。
- ▼今日も仲間が十人元気な顔を見せた。48ホールを前半後半に分け、約二時間楽しむ。
- ▼正午帰宅、昼食、午睡。
- ▼書きかけの小説原稿執筆
- ▼細君と散歩 約一時間
- ▼六時半晩酌夕食
- ▼九時入浴 日記を書く
- ▼今日も大過なく終った
- ▼十時半就寝明日の構想を。